

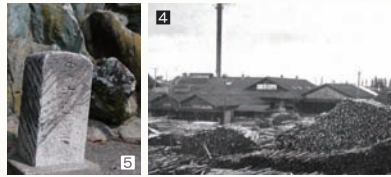
中野町 周辺

Nakanomachi

江戸から京を繋ぐ東海道は、その真ん中の町はココです。

江戸から京都へと続く東海道は、その距離120里6丁1間(約49.2km)。その中間地点つまり約60里地点にあたるのが浜松市の東のはずれに存在する「なかのまち(中ノ町/中野町)」である。お察しの通り、東海道の中間の町「中の町」としてこの地名が付けられ、今尚「東海道の真ん中」として認知されている。

江戸から京都へと続く東海道は、その距離120里6丁1間(約49.2km)。その中間地点つまり約60里地点にあたるのが浜松市の東のはずれに存在する「なかのまち(中ノ町/中野町)」である。お察しの通り、東海道の中間の町「中の町」としてこの地名が付けられ、今尚「東海道の真ん中」として認知されている。



1 木材や鉱石を筏と帆掛舟で運んでいた頃は、川がとても賑わっていた時代。昭和11年の風景。2 かつての木橋・天竜橋。3 天竜川のたもと堤防沿いには、明治9年から昭和初期にかけていた「木橋跡」がひっそりと佇んでいる。4 明治末期には19もの製材工場が立ち並んでいた中野町。5 市町村道路の起終点を示した「道元標」。静岡県内で現存するのは、ここ中野町だけと言われている貴重なもの。

趣のある小さな町でのんびりそぞろ歩き

天竜川の堤防から西へと伸びる旧東海道・中野町付近は、少し歩けば史跡スポットに巡り合える小さな町。かつて栄えた街道を中心に歴史と文化が今もひっそりと息づいており、散策エリアとしても人気のじゃ。浜松を代表するご当地グルメの老舗店もあるのじゃよ。のんびりと歩いて、歴史のかけらを発見しに行くのじゃ。

Nakanomachi

財産をなげうって天竜川の治水に貢献 村人たちを救った遠州地方のヒーロー

郷土の偉人・金原明善の生家。江戸時代後期の1832年(天保3年)、浜松市で生まれた明善は、当時「暴れ天竜」と呼ばれた天竜川の洪水で苦しんでいる人たちのために、自分の財産を投げ出し堤防を築いたり、川の上流に植林をするなど大きな功績を残した人物。2011年に改修された生家の

柱や梁は、当時のものが生かされている。風情ある館内で、明善ゆかりの遺品や貴重な資料に触れてみよう。治山治水事業に生涯を捧げ、数々の偉業を成し遂げた金原明善の信念が、伝わってくるだろう。

【金原明善翁生家】 浜松市東区安間町1 TEL.053-421-0550 入館料無料

136年の伝統を守りつつ 進化するうなぎ料理

歴史街道にふさわしい、老舗の風格が漂う、うなぎ専門店。創業は明治10年、船頭や木材商たちが集まり、活気にあふれていた時代から、この地でうなぎを提供し、浜松のうなぎ文化の礎を築いてきた。地下100mから汲む天竜川の伏流水でしめた臭みのないうなぎは、パリッと香ばしく、身はふっくら。創業以来継ぎ足しの秘伝のタレを使用し、こだわりの焼き方で仕上げている。看板メニューは4代目が考案した「うなぎとろろ茶漬」。最初は鰻丼として、次に薬味と出汁を加えたお茶漬けとして、最後はお茶漬けにとろろをかけていただく。3ステップの味が楽しめる逸品だ。

【中川屋】 浜松市東区中野町861-2 TEL.053-421-0007 <http://www.nakagawaya.jp/>



左:うなぎとろろ茶漬け 3,622円 右:4代目・村越武さん

偉人から学ぶの生き方のヒント

様々な事業で、近代日本の発展に貢献した不言実行の男・金原明善の信念から、生きるヒントを見つけてみよう。

金原明善 三つの信条

一、実を先にして名を後にす

実行することが先であって、それによって得られる名声はどうでもよい。

二、行を先にして言を後にす

実行することが必要であって、議論ばかりしては駄目である。

三、事業を重んじて身を軽んず

仕事に心命を注ぎ、事業を広げなさい。もたらした利益で社会貢献をしないさい。



1 金原明善翁生家の敷地内にある蔵。 2 地元の小学校では、町の歴史や文化を知るための課外授業を積極的に行っている。

波模様の石目が美しい「伊豆石の蔵」に誘われて

町内には、天竜川沿いの木材交易を象徴するかのよう「蔵」がいくつも残されている。どれも伊豆の石を使っており、太平洋の波模様が石に刻まれている。かつて、船を使い木材を江戸へ輸送した際、帰りの荷物として伊豆で石を積み中野町へ持ち帰ったため、この地で伊豆の石が流通した。現在、天竜川流域(浜松～磐田)で、120余の伊豆石の蔵が残されている。町内に遺在する蔵は6つ。地域の大切な宝物として、後世に残すための活動が行われ、町の人々に見守られている。



昭和9年頃の写真。昔も今も住民の手によって開催されている。

一見の価値あり。

江戸時代から続く歴史深い花火大会

天竜川の河川敷で行われる「中野町煙火大会」は、150年以上の長い歴史を持つ。明治の頃に一度中断したが、その際に疫病が流行したという言い伝えがあり、それ以来、途切れることなく開催されている。見所は、半円状の花火が特徴の「地割れ花火」で、天竜川に響きわたる爆発音には圧巻。毎年約4000発の花火が打ち上げられ、河川敷は多くの見物客で賑わう。

開催:2013年8月14日(水) 19:30~ 会場:中野町天竜川河川敷 中野町煙火大会実行委員会 TEL.053-421-7547



浜松のご当地グルメ 浜松餃子の名店

お持ち帰りの生餃子を求めて、遠方から訪れる人も多人数店。国内産の厳選素材をたっぷりを使用した餃子は、にんにくをしっかりと効かせたパンチのある一品。下味がしっかりとついて、一度食べたら忘れられない奥深い味わいに仕上がっている。テイクアウトが中心だが、平日の11:00~14:00は焼き餃子・みそ汁・ごはんがセットになった「餃子定食600円」が店内で食べられる。旅路の途中で食べたい逸品だ。

■生餃子10個~ 400円~。

【餃子の店 かめ】 浜松市東区中野町1030-1 TEL.053-421-0798 <http://www.gyouza-kame.com/>

